1 文とは？

英文ライティングの基本構成

文法の最初は「文」です。みなさんは親しい人との会話で自分の言葉が文かどうかは気にしませんよね。例えば、友達に弟を紹介する時に「これはほくの弟です」とは言わずに、「これ、弟」と言ったりします。「これはほくの弟です」は文ですが、「これ、弟」は文ではありません。

しかし、英文ライティングは文単位で書いていきます。日本語でも英語でも、書き言葉は文単位が基本です。この UNIT では「文とは何か？」を理解して、英文を書く準備をします。

Part 1

文の基礎

1 文とは

英語のライティング（日本語でも同じですが）は、「文（sentence）」単位で書いていきます。それでは、「文」とは何でしょうか。よく「主語と述語がある」という答えを聞きます。教室でこの質問をすると多くの人が、述語とは何かを理解しないまま、「主語と述語がある」と答えていると感ずます。では、「述語がある」とはどういうことでしょうか。一緒に考えてみましょう。

それでは問題です。次の①～③の中で文はどれでしょうか。

- ① The students taking the English examination.
- ② The students took the English examination.
- ③ The English examination taken by the students.

分かりましたか？「全部じゃないの？」と思う人は、ここからの説明をし

っかり読みましょう。英文構成の基本が理解できますよ。

正解は、②です。

②の took は take の過去形で「(試験を) 受けた」という過去を明示しています。述語とは、「過去、現在、未来」どの時制かをはっきり言っている部分です。述語になっている動詞は「述語動詞」と言います。

①～③を日本語に訳してみましょう。

- ① 英語の試験を受ける学生（文ではない）
- ② 学生たちは英語の試験を受けた。（文—過去を明示）
- ③ 学生たちに（よって）受けられる試験（文ではない）

①と③は、どちらも were (was)、are (is)、will be を入れれば文になります。

【①の場合】

The students were taking the English examination.

（過去進行形 — were が過去を明示）

（学生たちは英語の試験を受けていた。）

The students are taking the English examination.

（現在進行形 — are が現在を明示）

（学生たちは英語の試験を受けている。）

The students will be taking the English examination.

（未来進行形 — will be で未来を明示）

（学生たちは英語の試験を受けるだろう。）

【②の場合】

The English examination was taken by the students.

(受動態過去 — was で過去を明示)

(英語の試験が学生たちに (よって) 受けられた。)

The English examination is taken by the students.

(受動態現在 — is で現在を明示)

(英語の試験が学生たちに (よって) 受けられる。)

The English examination will be taken by the students.

(受動態未来 will be で未来を明示)

(英語の試験が学生たちに (よって) 受けられるだろう。)

注意

上の例の taking は現在分詞、taken は過去分詞と呼ばれていますが、分詞は過去か現在かは明示していません。① The students taking the English examination. を「現在時制だ」と思っていないですか？注意が必要です。

受動態と進行形の be 動詞や完了形の have は時間を明示します。しかし、現在分詞や過去分詞とペアで意味を作っているため、進行形、受動態の be 動詞、完了形の have、has、had などは助動詞で、分詞とペアで述語になります。will などの助動詞も動詞の原形とペアで述語になります (UNIT 8 参照)。

まとめ

- ・ 英文ライティングは文単位で書く。
- ・ 文には述語がある。述語とは過去、現在、未来がはっきりわかる部分。
- ・ ~ ing、~ ed などの分詞だけでは過去、現在、未来は分からない。現在分詞、過去分詞という名前に注意。

2 句と節

「句」と「節」は聞いたことがありますか？聞いたことがあっても、文法用語だと難しく感じてしまいますね。でも簡単です。句と節を超簡単に説明します。

◆ 句

過去、現在、未来が判別できれば、つまり述語があれば文でしたね。その反対で、過去か現在か判断できない、つまり述語がない「語の集まり」は「句」と言います。①と③は句です。動詞の過去分詞、現在分詞しかなければ句です (動詞句は別。詳しくは UNIT 3)。

① The students taking the English examination.

(英語の試験を受ける学生)

③ The test taken by the students.

(学生によって受けられる試験)

①は「英語の試験を受ける」が「学生」を、③は「学生によって受けられる」が「試験」を後ろから説明しています。それを「修飾」と呼びます。上の例では名詞「student (学生)」と「test (試験)」が句の中心なので、「名詞句」と呼ばれます。

◆ 節

I graduated from high school. (私は高校を卒業した。)(文—過去)

My father bought me a guitar. (父は私にギターを買ってくれた。)(文—過去)

上の2つの文を接続詞 when でつなぎましょう。

When I graduated from high school, my father bought me a guitar.

(私が高校を卒業した時、父は私にギターを買ってくれた。)